

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、ホール等の施設内に掲示し、職員が理解、再確認できるようにしている。職員同士で共有することで理念に沿ったケアに取り組めるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として町内会に加入し、コミュニティ協議会や玉江校区社会福祉協議会等に参加している。現在は以前のような地域との触れ合い等はコロナ禍で自粛し交流はできていない。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	相談、見学に来られたご家族や地域の方々に対し支援の方法や介護保険、サービス利用時の説明・案内を行い、認知症の理解が深まるように取り組んでいる。現在はコロナ感染対策で積極的に活動できていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在はコロナの影響を考慮し、外部からの参加は自粛し、入居者と職員のみでの参加としている。入居者の意見や希望を受け止め、改善を行うことでサービス向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>伊敷支所、鹿児島市役所や地域包括支援センターとの連携を図り、担当者との情報交換を行い、協力関係を築き連携を深めている。現在はコロナ禍で会議等は参加はできていない。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会を設置し、会議にて各議題について検討を行っている。職員間で周知し身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止委員会を設置し、会議にてハード面、ソフト面での議題について検討を行っている。職員が虐待について理解、周知し虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>当ホームでも成年後見制度を利用している方がおられる為、身近な事として理解をしている。また、事業所内の研修においても成年後見人制度の理解をより深められるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者のご家族に分かりやすい言葉で丁寧な説明に心掛け、理解、合意を得られるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者やご家族が職員に対し、意見や要望を伝えやすいよう、傾聴の姿勢について指導を行っている。また、意見箱を設置し定期的に検討・反省し、より良い運営となるよう努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティングにて、職員間の意見交換の機会を設け、意見や提案等を検討し、運営の反映に繋げている。また、職員が意見を自由に言える雰囲気づくりに努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に職員の資格取得に向けた情報の提供・支援を行い、取得後は労働条件・給与に反映させ、やりがいがある配慮や対応に心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に事業所内での研修を行い、ケアの質の向上を図れるよう取り組んでいる。また、職員の学びたいという思いや意欲の向上に繋がるよう、研修に関しての周知、掲示を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連事業所・他事業所との研修にて意見交換を行うなど、交流する機会を設けていたが、コロナの影響で実施されない為、難しい面が多い。現在は、施設内職員の意見と取り入れることでサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コロナの影響で入居前に面会することが難しい為、入居前の生活歴等の情報収集をし個人を知ることから始めている。本人の心配や不安な思いに耳を傾け共感する姿勢で信頼関係が構築出来るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居希望の連絡時や施設見学の来訪時にご家族の思いや考え、サービス利用に対しての心配事や不安を傾聴・共感し、信頼関係の構築に努めている。また、ご家族が聞きやすい環境作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が必要としている支援を導き出せるよう、事前にアセスメントにて情報の分析を行い、他サービスも含めて望む暮らしに近づけられる支援ができるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各入居者の出来ることを見極め個別援助を行っている。職員や他入居者と共に生活し、出来ることを一緒にすることで、互いに支えあえる信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションが図れるような支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者本位を念頭に置き、本人と家族の思いをすり合わせ、お互いが大切な存在であると感じ、絆を繋ぎ支えられるように努めている。また、ご家族の協力が必要不可欠であることを理解して頂き、共に支えていけるように関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在コロナ禍により、面会や外出制限を設けているが、窓越し面会や電話、オンラインの利用にて交流が図れるように実施している。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性や関係性等に配慮し、入居者同士の交流を通して楽しみを見つけ、お互い良い刺激や日常生活の活性化が図れ、心地良い時間を過ごせるように配置や環境、雰囲気作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もグループホームでの関係性が継続出来るような支援に努めている。退居後の状況確認や入居時と変わらず相談出来る環境作り、必要に応じた情報提供を行い、関係性を繋いでいけるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思い意向、または意思の確認が困難な場合は表情や仕草から読み取り、家族を含め一緒に検討し、本人の望む暮らしに近づけられるようなケアに努めている。その際、ケアをする側の思いが先に立たないように心掛けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から本人や家族、または前施設から情報収集し状況把握に努め、入居の際は写真や馴染みのも物を持参して頂き、入居者との関わりの中で生活歴や生活習慣、背景にあるものを把握出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来ない事や問題点だけに目を向けず、本人の思いを尊重しながら出来る事、持っている力を把握しその力を発揮出来るようなケアを実践し、生活が活性化出来るよう支援に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングやカンファレンスにより課題や意見を出し合い、本人や家族の意見も取り入れ現状に合ったより良いケアプランの作成に繋げている。また同じ目標に向けチームでのケアが実践出来るよう、短期目標の確認や共有の場を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子やケアを行う中で表情や言動から気付いた事などは記録に残し、往診や受診時のドクターからの指示や助言は別に支援記録に記録すると共に、業務日誌の特記事項欄に記入し職員間で情報交換・共有する事で介護計画の見直しに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体状況・体調面、本人・家族の意向等日々変化するものとして、介護計画においても定期的な見直しではなく柔軟な対応を行い、その時に必要に応じたサービスの提供や案内に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居後もこれまでと変わらず住み慣れた地域で、馴染みの方との関わりが途切れることのないよう、近隣の方々、訪問理容、商店の利用支援や挨拶等心掛け、交流を図り関係性を保っているが、コロナ禍で交流は難しい状況である。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を第一にかかりつけ医の選択を行っている。協力病院を利用されている入居者は往診で状態を診て頂き、ドクターの指示を仰いでいる。家族同行での受診の際は、情報提供、受診結果の交換を行い、情報を周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全職員で体調管理をし、体調の変化や気づきがある時には記録に残し置き常に把握し、往診時や受診時に主治医に報告出来るようにしている。異変時には早期に適切な治療看護が受けられるようかかりつけ医と連携し体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院当日に介護サマリーの作成を行い、入院された病院に情報提供を行っている。また電話や直接病院へ出向いて状態交換も行っている。。退院直前のカンファレンスに参加し、情報の共有を行うと共にケアプランに反映している。コロナ禍の為、直接の来訪が難しい場合がある。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期の対応について説明している。また利用者の状況が悪化した場合には、改めて重度化や終末期のあり方について家族、かかりつけ医、職員等と事業所での対応について話し合い、方針を共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルがありそれに沿って対応出来るように職員間で共有を行っている。緊急連絡網も作成してあり職員が直ぐ目につく場所に掲示してある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時対応マニュアルと緊急連絡網を作成し掲示しており、職員全員が把握出来るように努めている。防火訓練を定期的に行い、災害時に即行動出来るように消防署の方からの助言も受けながら行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症であっても、入居者一人ひとりの人格を尊重することを基本に、尊厳を守る姿勢で言葉遣いや対応に気を付けるように定期的に周知・指導を行っている。排泄・入浴介助時はタオルをかけたリ、ドアの開閉等に注意し、肌の露出による羞恥心への配慮やプライバシー保護に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者一人ひとりの好きなことや思いを聞き取り、日常生活の中で自己決定して頂けるように支援しています。自分の意思が伝えられない方でも表情や仕草、これまでの生活環境や習慣から思いをくみ取れるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に利用者本位、自己決定の優先を心掛け、業務に合わせたケアや職員主導のケアになってないかを意識して支援に取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者本人の生活歴や思いを念頭に置き、季節感等の判断が困難な場合は手伝いをするが、その方の好きな服等が選択出来るような声掛けを行っている。また訪問理容も利用しているが、現在はコロナ感染拡大の為、利用は中止している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の誕生日や行事に際には特別メニューを設けている。食事に興味を持って頂けるように食べたい物の聞き取りを行い、メニューに取り入れている。また入居者それぞれの能力の合わせ、手伝いをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各入居者の食事量や食事形態、食器類の選定等を把握し、ゆっくと食事を楽しんで頂けるよう配慮している。各入居者の水分摂取量を日勤帯や夜勤帯で色分けし記録にも残している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛け誘導し、入居者の口腔状態に合わせた介助を行い、口腔内の確認や清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立の入居者でも排便の滞りがないよう排便確認の声掛けを行っている。また排泄の訴えがない入居者も定時でトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を促し、排泄リズムを作ることで、おむつの使用を減らせるよう努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期的に排便が促せるよう、食物繊維の摂れる食事メニューや水分摂取の少ない入居者には水分を促せるように、回数を増やしたり好みの飲み物を提供する等の配慮をしている。排便の滞りがないよう、下剤の調整等主治医との連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	それぞれに曜日ごとの入浴を行っているが、入居者のその日の気分やペースに合わせて、曜日や時間帯はその都度臨機応変に対応している。また、失禁等で汚染がある時は、曜日に関係なく入浴を実施し清潔保持に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠の際、本人の五感を刺激しすぎることのないよう、室温、明かり、寝具の調整を行っている。また、その日の気分や体調、生活習慣に合わせて声掛けや対応、横にならない方でも安心して穏やかに過ごすことが出来るよう環境作りをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を確認しながら一人ひとりの薬の把握に努めている。薬の変更や中止になった際には、業務日誌や支援経過に記載して申し送りをし、職員全員が把握するように努めている。また、副作用等の注意事項の情報共有も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の趣味や楽しみごと、またテレビや新聞、運動、家事活動等興味のあることを傾聴し、その方にあった支援を行い、一人ひとりの役割や楽しみを見つけられるよう取り組んでいる。季節ごとのイベントや活動の催し物も取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はコロナ禍の状況において希望に沿った外出の支援はできていない。家族と一緒に病院受診の為、外出される方はおられる。また職員と同行の病院受診の際、ドライブを兼ねられるようにしている。外出は難しいが庭に出て外の空気に触れ、気分転換が図れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理はホームで行っている。入居者より買い物の依頼があった際には購入している。現在はお金を自分で管理したいと言われる方はおられない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>定期的に家族から電話連絡がある方はおられる。希望に応じて電話を利用出来るよう支援している。また、難聴で通話が聞き取りにくい場合には、職員が間に入り会話の手助けをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>環境整備に心掛け、季節を感じる事が出来るように展示物を張り替え、玄関やテーブルに季節の花を生けている。白内障・緑内障の方もおられる為、目に光の刺激がないようカーテンを閉めたり、座席の配置にも配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座席やテーブルだけでなく、ソファやリクライニングチェアを配置し、入居者同士でコミュニケーションが円滑に図れるような空間を作り提供している。窓際から外の景色を眺められるよう工夫もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>床に座れるよう絨毯を敷いたり、自宅で使い慣れたタンスやテレビ、ハンガーラック等を搬入しておられる方もいる。また、仏壇がある方も数名おられ、毎日朝晩、仏壇に手を合わせたり、お経を唱えられる方もおられる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の床にジョイントマットを敷き、滑ったり転倒での骨折の心配を少しでも軽減する事で、安心して移動する事が出来るようになった方もいる。居室やトイレ、浴室に表札や目印を付けたり、夜間はセンサーライトで廊下の移動に配慮している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない